



まさきの地球に優しく  
美しいまちづくり

### 使用済み食用油の回収

役場、東・西・北公民館、まさき村（エミフル MASAKI 内）、ダイキ EX 松前店の6カ所に回収ボックスを設置しています。地球温暖化防止のためにも、ぜひ活用してください。

#### 利用できる時間

- ・役場、東・西・北公民館  
⇒ 8時30分～17時15分  
（土・日曜日、祝日を除く）
- ・まさき村・ダイキ EX 松前店  
⇒ 営業時間内

#### 使用済み食用油回収実績（27年度）

使用済み食用油回収量 ※（ ）は前年比
7,678kg (+375kg)

#### バイオディーゼル燃料使用実績（27年度）

BDF（B5燃料）使用量 ※（ ）は前年比
481ℓ (+157ℓ)

ひまわりバスや公用車の燃料として活用しているのは、ひまわり油だけではありません。家庭や給食センターから出る使用済み食用油も、燃料として活用しています。町では、町内6カ所で使用済み油の回収を行っています。皆さんも、油を捨ててごみにするのではなく、町の環境を守るために活用しませんか。



10月から  
役場、各公民館は  
ペットボトル回収に

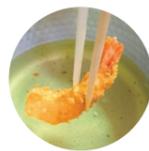
役場、東・西・北公民館、ダイキ EX 松前店はペットボトルなどの容器のまま、まさき村は油を専用ボックスに油を注入することで、使用済み油の回収を行っています。

## 私たちも使用済み食用油で貢献 ひまわりバスのエコ事業

2 まさきの  
バイオマス



## ひまわり油と使用済み食用油が原料の燃料で ひまわりバスがエコ走行開始



松前町は、平成18年度から「えひめバイオマスプロジェクト」のモデル町として、動植物から生まれた再生可能で地球に優しい有機性資源を活用したバイオマス推進事業を進めています。その一環で8月24日から、町内を巡回する路線バスである「ひまわりバス」の燃料を、ひまわり油と使用済み食用油が原料の「バイオディーゼル燃料」に変更しました。

### 路線バスでのバイオディーゼル 燃料の活用は県内初



年間約1,440kgの  
二酸化炭素削減効果

清水一郎伊予鉄道社長（写真中央）、岡本町長（写真右）らが出席した出発式



バイオディーゼル燃料は、原料である植物が成長過程で二酸化炭素を吸収しているため、使用しても大気中の二酸化炭素を増やしません。

## 3 まさきの バイオマス 油だけではない？ せんてい枝のバイオマス推進事業

せんてい枝や草は可燃ごみとして焼却せず、資源ごみとして分別収集。北川原の「有限会社あぐり」で堆肥に変換し、町内の農地で利用しています。松前校区は第2・4金曜日、北伊予・岡田校区は第2・4水曜日が、せんてい枝の回収日です。みんなで堆肥化に協力しましょう。



#### せんてい枝の収集実績（27年度）

せんてい枝の収集量 ※（ ）は前年比
886t (-21t)

せんてい枝から  
土壤改良材ができるまで



回収



堆肥化



農地で利用

ひまわりの種の収穫量・  
搾油量（27年度）

※（ ）は前年比

作付面積	約8反
収穫量	1,280kg (-190kg)
搾油量	150ℓ (+64ℓ)



搾油作業。種の刈り取りも地域の協力でやっている。

町の花である「ひまわり」を使ったひまわり油は、種から油を搾油しています。中川原地区と東古泉地区が栽培したひまわりを搾油し、まずは保育所の給食や文化祭で食用油として使用。その使用済みの油をバイオディーゼル燃料に精製し、さらに軽油に5%混合した「B5燃料」を、平成21年度から公用車の一部で利用しています。今回は、より一層、地球に優しい安心のまちづくりを進めるため、ひまわりバスでもB5燃料を利用することになりました。



花を咲かせたひまわり。多くの人が花を鑑賞して楽しむ。



定植作業。子どもから大人まで地域住民が協力して行う。

## ひまわり油って？ どうやって燃料になるの？

まさきの  
バイオマス